

2002.2.15

民主

定価 200 円 (消費税込み)

年間誌誌
3000 円 (送料込み)

民主党広報委員会
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
民主党愛知県連支援連合会
名古屋市東区泉 1-12-34
セントラルアベニュー 1223 9F
電話 052-951-7881



民主党のいまがわかる月刊紙

[民主党愛知県連\(政策調査会\)がBSE問題で調査!! / 愛知県と東海農政局に申し入れ!](#) / [2002「新年のつどい」開く / 政策調査会が「電動車いす体験」学習を予定!](#) / [次期衆議院総選挙小選挙区候補予定者の紹介 / 議会日程 / 編集後記](#)

民主党愛知県連(政策調査会)がBSE問題で調査!!

—— 調査団、生産者等と意見交換 ——



BSE(牛海綿状脳症)問題で風評被害を受けている、生産者などの実情や農水省や愛知県の行政対策を現地で確認しようと、民主党愛知県連の政策調査会(会長=伴野 豊・衆議院議員)を中心とするBSE問題調査団が、1月10日(木)に半田市内の関係施設の現地調査を行った。訪問先はBSE検査や食肉処理が行われている半田市食肉センター、黒毛和牛約1,100頭を飼育している小栗牧場、半田市酪農組合の飼料配合所の3箇所。

調査団のメンバーは県連政策調査会長の伴野 豊・衆議院議員を団長に 国会・県議会・名古屋市議会・半田市・常滑市の市議会議員ら14人。

食肉センターでは担当者から食肉処理の過程や、隣接する県食品衛生検査所半田駐在検査室でBSE検査の実態を見学した。その後、小栗牧場では経営者の小栗源太郎さんが牛舎を案内し、「以前は1頭あたり70から80万円の売上があったのに、今は20から40万円に値を下げている。死活問題だ。国民・県民の消費の回復に民主党も是非頑張っ

て欲しい。」との要望を受けた。飼料配合所では、東海農政局の西関邦男・畜産課長ら行政側から、「国の対応にまずさがあり、現場での混乱を招いて大変申し訳ない。」と、この間の現状と対策の説明を受けた。

意見交換に参加した約20名の生産者からは、「廃用牛(乳の出の悪くなった高齢乳牛)が売れなくて困っている。愛知県はもとより、国として早急に対策を取って欲しい。」「国の安全宣言が消費者にきちっと伝わっていない。」「この間、全てにおいて対策が後手後手に回っている。」などの不満も出された。

意見交換後の記者会見で、伴野豊・調査団長は「処理や検査はきちっと行われている。しかし、国は消費者への不安をなくすためにタイムリーな



情報を提供していない。BSEの感染経路をはっきりさせなければ、生産者や消費者の不安を払拭する事にはならない。そもそもこの問題は、不誠実な政府対応が原因。初動のまずさと武部農水大臣や関係者の無責任な発言により、消費者の不安を増大させた。全ての信頼回復は正確な情報発信にある。今日頂いた、貴重な意見や要望を取り上げ、国会の関係委員会で追及していきたい。」と語った。

なお、民主党県連は今回の調査団の報告を踏まえ、愛知県と東海農政局に早期解決に向けた申し入れを、1月23日(水)に行った。(2面記載)

BSE問題調査団

- 団 長 = 伴野 豊(政策調査会長・衆議院議員)
副団長 = 佐藤泰介(副代表・参議院議員)
事務局長 = 近藤良三(前県議会議員・政策調査会委員)
団 員 = 近藤昭一(衆議院議員)、前田雄吉(衆議院議員)
吉岡よしき(県議会議員)、原田信夫(県議会議員)
高木浩司(県議会議員)水野豊明(県議会議員)
吉田隆一(名古屋市会議員)、本美正雄(半田市議会議員)
成田勝之(常滑市議会議員)、中村圭佑(県連事務局長)他



愛知県と東海農政局に申し入れ！

BSE問題で民主党愛知県連

BSE調査団の報告を受け、積み残された課題と今後の対策を、行政側に積極的に進めるよう、民主党県連は1月23日(木)15:30～愛知県、16:00～東海農政局に要請行動を行った。

参加メンバーは、伴野 豊・県連政調会長、佐藤泰介・県連副代表、前田雄吉・衆議院議員、原田信夫・県連政調副会長、黒川節男・県議団「民主クラブ」幹事長、小林弘子・江南市議、近藤良三・政調会委員、中村圭佑・県連事務局長ら8名。愛知県・河内副知事と東海農政局・染局長に食肉の安全管理体制の再点検と、すべての業者への支援体制、消費者の不安払拭と需要の回復など4点にわたる要請を行った。伴野政調会長は追加口頭で、「BSEの発生以前の肉骨粉の処理は、概ね順調に行われている。しかし、18日以前の牛肉の処理は、未だ業者の

倉庫(冷凍庫)に保管されている。この焼却に向けて、タイムスケジュールを出すなど最善を図られたい。」と要請した。

河内副知事は、「業界団体と連携を取り、対応を進めたい。県民への牛肉は安全であるというPRは全庁的に取り組まなければならない。」と今後の対策を積極的に進めると語った。続いて、東海農政局では、染局長から、「消費者の生命・安全を守るのが我々の最大の仕事。牛の生産から処理までの仕組みを明確に消費者に示す事。BSEの内容を正確にPRすることが消費回復につながる。早期解決に向けて努力したい。」と語った。



東海農政局要請



愛知県要請

[▲
top](#)

2002「新年のつどい」開く

民主党県連の実質的な「旗開き」として、2002「新年のつどい」が1月16日(水)18:00～ウエスティン・ナゴヤキャッスルホテルで開催された。

激励に駆けつけた、鳩山由紀夫党代表は、2,500名の支持者を前に「愛知での県民的な課題である愛知万博の成功のため、民主党も最善を尽くしたい。」と愛知万博の支援に意欲をのべた。

来賓は神田真秋・愛知県知事、松原武久・名古屋市市長、おくむら文洋・名古屋市議会議長、小田桐勝巳・連合愛知会長。

佐藤観樹・県連代表は、「愛知の民主党が中心となって、自民党にとって代わることのできる政治勢力を、皆さんと共に造っていききたい。民主党への支援の輪をさらに広げて欲しい」と挨拶した。

この「新年のつどい」には党県連所属の国会議員・県議会議員、名古屋市会議員をはじめとする市町村会議員と友好議員、約120名と連合愛知などの支援団体、支持者らが歓談した。



[▲
top](#)

政策調査会が「電動車いす体験」学習を予定！

バリアフリー社会と街づくりをめざすにあたって、実際に「車いす」による移動を体験し、困難性や障害を実感する事によって問題の把握を行おうと、政策調査会では委員からの意見を取り上げ、なかでも重量や幅の大きな「電動車いす」での移動がスムーズに行えるかどうかの点検行動を、障害者団体の協力を得て企画中。民主党の提案した「公共施設のバリアフリー化」の実現を目指し、名古屋市内でも特に乗降客の多い、名古屋駅と金山総合駅をターゲットに学習します。後日紙面にて…！



次期衆議院総選挙小選挙区候補予定者の紹介

12区・14区の新人候補予定者を紹介します



民主党愛知県第12区総支部長
中 根 やすひろ (なかね やすひろ)

経歴：1962年8月17日生まれ
岡崎高校、早稲田大学商学部卒業
岡崎市議1期

現在：党第12区総支部長、学校法人理事長
NPO法人理事長、行政書士

「共生社会へ政権交代、世代交代！！」

21世紀を「福祉と人権、環境と国際平和」の時代とするため、是非、私を国会で働かせてください。障害者、女性、高齢者、子どもたち、みんなが希望を持って安心して日々を暮らす事のできる「共生社会」が、私の夢です。

もはや、「古い政治家による今までのやり方」は、まったく通用しません。既得権やしがらみない新しい発想が必要です。

少子高齢社会と低成長経済に適応して、社会システムの抜本改革が早急に必要です。例えば、女性、高齢者、障害者が積極的に社会参加できる基盤整備を行い、社会保障の「支え手」になってもらうこと。そのための年金、医療、介護、教育、税制、バリアフリー社会の抜本改革と推進に取り組みたいです。

特に、全ての不条理をなくす一歩として「障害者差別禁止法」の制定に努力したいと考えています。また、わが国の「ものづくり」の基盤を守るため、産業の空洞化対策や中小企業対策も急務です。住民サービス向上のための地方分権も大切です。公共投資の質的転換とムダ使いの削減により、傾斜的に「共生社会」実現に投入すべきでしょう。そして、そこに景気回復と雇用創出の原動力が生み出されてくるものと考えています。

これからも生活者、勤労者が主役の政治実現のため、全力で頑張りますので、どうぞ、よろしくお願いします。



民主党愛知県第14区総支部長

鈴木 克昌(すずき かつまさ)

経歴：1943年11月14日生まれ
日本大学経済学部経済学科卒業
元愛知県議会議員(4期)
元蒲郡市長(2期・6年)
元蒲郡青年会議所理事長
現在：党第14区総支部長
県ゲートボール連盟会長
蒲郡バレーボール協会会長

「市民による、市民の為の、市民の政府」をつくろう！！

私は県会議員、蒲郡市長と地方自治に係らせて頂いてまいりました。その間、県民の皆様や、市民の皆様の生活を第一にと、考えて行動して参りました。しかし地方自治と言っても、国レベルの政治が大きく関係し、その限界を感じていました。そうした折、一昨年の衆議院選挙に立候補いたしました。結果として苦杯をなめる事になりましたが今回、私の人生のなかで今まであまり認識したり気づくことがなかった貴重な体験をさせていただいています。そして、このことにより私の政治使命をさらに明確に自覚させて頂くことが出来たとおもっています。

旧来の体質や政治活動ではもはや、わが国の市民の為の政治を行うのは大変困難な状況になっていることを痛感いたします。エイズ薬害事件・KSD事件、外務省機密費事件などはわが国の構造的な問題に他ならないのです。またバブル崩壊後の構造改革も困難を極めているのはご承知の通りです。つまり、こうした事件や課題は従来型政治や社会構造として起こっているといわなければなりません。

IT技術や科学技術の進歩によって地球レベルで社会構造は変わっています。政治のみならず産業、経済活動のあり方が基本的な変革をしたのです。とりわけ経済の先行きは深刻で、大量失業時代と言われるなか、働く人の権利を守る事により真の信頼関係を構築しなければ日本の将来はないと思います。

いまや真にリンカーン大統領がゲティスバーグの戦いの後の有名な演説で言った「市民による、市民の為の、市民の政府」を建設する必要に迫られているのではないのでしょうか。

私、鈴木克昌は即戦力として全身全霊を打ち込んで国民の為、民主党の為、頑張ります。

[▲
top](#)

■議会日程

愛知県議会 2月19日(火)～3月25日(月)

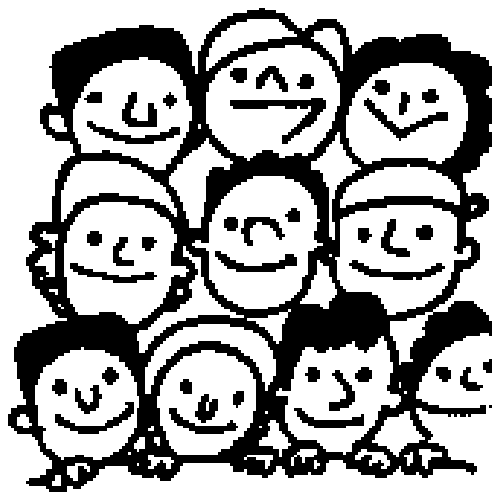
名古屋市議会 2月21日(木)～3月20日(水)

* 変更もあります。

■政策調査会タウンミーティング(会長＝伴野 豊・衆議院議員)

政策調査会では、地域で顔の見える「民主党」の活動として、タウンミーティングを企画します。15のそれぞれの総支部が主体となり、下記の県政の課題の10項目を基本に、対話型の集会を行います。

- (1) 市町村合併の促進、広域行政
- (2) 産業政策・産業構造改革、地域経済
- (3) 分権・地域主権、住民参加
- (4) 環境
- (5) 高齢社会の福祉、子育て支援
- (6) 雇用対策、雇用確保
- (7) 公共事業のあり方
- (8) 地場産業の発展、農林水産業の今後
- (9) 教育
- (10) 男女共同参画社会
- (11) その他



詳しいお問い合わせは、各総支部または各衆議員事務所まで…今後の紙面でも紹介していきます。

■組織委員会(委員長＝松山 登・県議会議員)

党勢拡大の方針を具体化するため、県連組織委員会は第1回目の会議を開催。大会方針を踏まえ、3,000名の党员達成とサポーター獲得の拡大を協議した。

■選挙対策委員会(委員長＝近藤昭一・衆議院議員)

次期統一自治体選挙を視野に入れた、候補者擁立のための選挙対策委員会を組織化するため2月8日に開催。各総支部において選挙対策委員会の組織化と、「県連候補者擁立作業チーム」へ各総支部から2名を構成員とするなど、民主党県連の地域基盤の整備を協議した。

■部落解放愛知県共闘会議第26回定期総会

民主党県連も参画している部落解放愛知県共闘会議が2月6日(水)に第26回定期総会を開催した。佐藤観樹代表をはじめ、党の所属議員も参加。総会後の記念講演は、連合本部の林道寛・国民運動局長による、「連合の人権確立に向けた取り組み」を行った。

■行政との交渉

毎年、次年度の人権行政の充実を求め、部落解放愛知県共闘会議が愛知県の被差別部落指定地区の行政と意見交換(交渉)を行っている。今年は、3月5日(火)に津島市と甚目寺町、3月27日(水)に知立市と小坂井町と行う予定。(愛知県と名古屋市は昨年末に実施済み)



編集後記

今回、民主党県連がBSE問題の調査を行いました。昨年発生したBSEでの農水省の対

応がかえって国民の不安を拡大した事もあり、農水省や他省庁へ今後、このような問題隠しや対応の遅れを繰り返さないことを目的としました。早く信頼を回復して景気に好影響を与てもらえばと考えていたところ、今度は雪印食品による牛肉の偽装事件が発覚しました。またかと思うとともに、この国の抱えた社会の深刻さが改めて思い知らされた、そんな年の初めとなってしまいました。

広報委員長 原 邦芳 県議会議員

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail: minshu@dream.ocn.ne.jp


[top](#)